

# 看護部通信

#HOSPY

第61号 2025.10.1 発行  
HOSPYグループ腎透析事業部看護部

現任教育委員会より今年度の研修のご紹介

【様々な分野の外部講師をお招きし研修を企画しています。】

## 8/29(金)スキルアップ研修②-1を開催

埼玉医科大学医学部総合医療センター メンタルクリニック 公認心理師 小林清香先生  
テーマ「喪失とグリーフワーク」「ストレスとその対処」 参加者:32名

## 2026/3/13(金)スキルアップ研修②-2

日本福祉大学看護学部看護学科 精神看護学・家族看護 古澤亜矢子先生をお招きし、  
ご講義頂きます。

## 10/30スキルアップ研修①

日本の看護臨床倫理を切り拓いた第一人者  
石垣靖子先生にご講義頂きます



## 11/5 アドバンス②企画

本の著者:川畑智先生に認知症についてご講義頂きます。

## 2025年度サイコネフロロジー看護委員会の取り組み

### 2025年度サイコネフロロジー看護委員会の取り組み

私達は、サイコネフロロジースタッフ養成講座の研修を経て  
サイコネフロロジースタッフとなりました。

現在11名がサイコネフロロジー看護委員会で活動をしています。

2025年度は、

1、サイコネフロロジー看護の質向上に必要な基礎知識を学ぶことを目的として、  
専門家の講義を企画

▶8/29(金)小林清香先生:公認心理師・臨床心理士(現任教育委員会とコラボ)  
「喪失とグリーフワーク」「ストレスとその対処」

▶3/13(金)古澤亜矢子先生:精神専門看護師  
内容未定

2、現場での意思決定ロールプレイの企画・実施

3、自殺に遭遇したスタッフの心のケア(サポート・グループ)の企画・実施

公認心理士・臨床心理士:小林清香先生サポートでZOOM開催 計6回



みなさん、この書籍を知っていますか？

腎臓病の様々な病気にみられる 症状を、専門家の解説、アプローチのヒント、  
多職種の見点が紹介されています。現場で活用してください！！

# ～インタビューしてみました～



**腎不全看護認定看護師**を取得するため昨年研修を受けていた  
**山田裕香主任にインタビューしてきました！！**

## 取得しようと思った理由は何ですか？

日々のなかで、終末期の透析をやめたいと話す患者さんご家族の思いが行き違う場面で戸惑ったり、病態の理解やアセスメントしての難しさを感じるが増えていました。かわりが心理面に偏ってしまい、身体面や生活背景を含めた全体像がうまくつかめないアンバランスさも感じていました。多職種との連携もうまく進められず、タイミングを逃したり、現場でどうかかわればいいのか突破口を見いだせずに悩むことが多かったです。それに自分の看護実践を暗黙的でなく、自分の言葉で説明できる力をつけたいと考えるようになりました。だから一旦立ち止まって、腎不全看護をあらためて、系統的に学びたいと考えたからです。そういうタイミングで“やってみたいことをやってみよう！”という力も湧いてきて、チャレンジすることができました。

## 研修の内容を教えてください！

時期	学習内容・活動	学習形式	備考
12月	入学試験 昭和医科大学認定看護師教育センター 学力試験（専門科目）客観式問題・状況設定問題、小論文、面接		
6月開講 1～2ヵ月	Eラーニングによる特定行為共通科目（臨床病態生理学、薬理学、 フィジカルアセスメント、臨床推論など）	オンライン学習	基本的知識、実践的な理解力、思考力、判断力
3～4ヵ月	特定共通科目・区分別科目 認定看護師の役割（実践・指導・相談）	対面授業・演習・GW	特定行為を安全・確実に実践するための知識・技術
5～6ヵ月	特定行為実習（栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連：高カロリー一輸液の投与量調整や脱水時の電解質補正／透析管理関連：透析関連低血圧や心不全症例の透析処方など）	区分別臨地実習	名古屋記念病院、新生会第一病院で実習
7～8ヵ月	腎不全看護認定専門科目の講義と演習	対面授業・演習・GW	CKD患者すべてへの看護に必要な知識と技術
9ヵ月	臨地実習（自己管理が困難な人・社会的支援を必要とする人）	認定臨地実習	杏林大学医学部付属病院
10ヵ月 3月修了	ケースレポート作成・発表会 臨地実習での実践を客観的・論理的に振り返る。結果を効果的に発表する。看護実践の共有。自己の課題を明確にする。 統合学習	個人作業・面談 他分野交流 演習・GW	最終段階 腎不全看護とは

## 大変だったことを教えてください！

課題やレポート、試験、常に時間に追われていました。言語化する力の乏しさを感じたり、看護師として実践を積んできたはずの自分に落ち込むこともよくありました。また看護とは何かと考えることも多く、自分の価値観や内面と向き合うことも必要でした。いろいろ苦しかったです。職場のたくさんの方々、友人や家族にかけてもらった言葉がふと決まって浮かんで来て、がんばろうって思えました。

## 楽しかったことを教えてください！

全国から集まった同期16人と過ごした時間です。寝ても覚めても腎臓、腎不全看護という毎日、グループワークも多く、刺激を受けながら、自分と向き合い、考え方の幅が広がりました。道端でふと話したり、授業後の教室やファミレスで課題を進めたり、一緒に腎臓デーのポスターを作ったり。私は前に進めずぼーっと悩んだり、よく笑いながら同期と過ごし、乗り越えた時間は一生ものの経験になりました。

## 参考になった、おすすめの本を教えてください

「～至適透析を理解する～血液透析処方ロジック」上野智敏 著、中外医学社、2022年  
「糖尿病医療学入門－ところと行動のガイドブック」石井均著、医学書院、2019年



10月に本試験があるそうです。看護師一同応援しています！！！！

